

松戸市シルバー人材センター

はつらつ松戸

「自主・自立、共働・共助」 第61号

会員数

男性 1,637人

女性 479人

2,116人

平成31年3月末現在

編集・発行

公益社団法人

松戸市シルバー人材センター

〒271-0043

松戸市旭町1-174

TEL 047(330)5005

FAX 047(330)5008

松戸市シルバー人材センター

ホームページ

<https://webc.sjc.ne.jp/matsudo/>

E-mail matsudo1@sjc.ne.jp

2019年(令和元年)5月1日



二本松寺「あじさいの杜」--茨城県潮来市

**新元号『令和』を迎え、
会員さんの力と活動が
センターを育てる**



理事長
たにや
龍谷 公一
きみひと

新元号『令和』が決まりガラリと世の中が変わる訳ではありませんが、会員の皆様には、これからもセンターを宜しくお願い致します。さて、シルバー人材センターは制度創設以来、会員数や契約額において、長く順調に成長してきましたが、ここ数年を見ますと横ばい、もしくは減退の傾向にあります。主要因として、高齢法の改正による60歳代前半層の会員への取り込みが、極めて困難になったことだと思えます。しかしながら本来はこういった外的要因にも左右されない自立した制度・体制作りが必要であると思えます。具体的にはもっと積極的な会員の確保と契約の受注が喫緊の課題であると思えます。

この様な状況下、昨年度を振り返りますと、会員さん一人一人の各事業に対する頑張りを始め、各部会や委員会、各班の皆さんがセンター発展のために頑張つ

ていただいた点が多かったと感じております。ひとつには総務部会による入会説明会での説明時にDVDを導入し、加入する人に解りやすくして頂いたことや登録方法を見直した点等。また、女性部会によるセンターのPR活動として市民劇場にて地域の集いを開催して頂いたこと、女性部会の皆さんが地域の皆さんにもっとセンターを知っていただきたい、そしてもっと多くの仲間を作りたい、さらにその仲間の方たちとシルバーパワーで地域を明るく元気にしたいという思いから実施していただきました。

他にもたくさん事例がありますが会員の皆さんのご尽力に感謝申し上げます。今後も積極的に会員さん一人一人が自分たちの力を発揮し、生かすことが大切になります。そのために就業を通じて地域のネットワークやコミュニケーションを大切にしていたり、地域に貢献していることでセンターをさらに育てていきたいと思えます。

理事会報告

第8回 平成30年11月30日

(会議内容)

(1)承認事項

・入会者の承認について

(2)報告事項

各部会及び各委員会からの報告
事業実施状況報告について
専門部会関係

◎専門部会等の活動状況報告

第9回 平成31年1月31日

(会議内容)

(1)承認事項

・入会者の承認について

(2)議案事項

・議案第6号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター
平成30年度第2回収支補正予算について

・議案第7号 同センター福祉有償運送サービス事業運営規程の制定について

・議案第8号 同センター職員給与規程等の一部を改正する規程の制定について

(3)報告事項

各部会及び各委員会からの報告
事業実施状況報告について
未収金について
予算執行状況について
専門部会関係

◎専門部会等の活動状況報告

第10回 平成31年2月28日

(会議内容)

(1)承認事項

・入会者の承認について

(2)議案事項

・議案第9号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター
平成30年度第3回収支補正予算について

(3)報告事項

各部会及び各委員会からの報告
事業実施状況報告について
平成31年度事業計画(案)について
平成31年度収支予算(案)について

◎専門部会等の活動状況報告

第11回 平成31年3月13日

(会議内容)

(1)承認事項

・入会者の承認について

(2)議案事項

・議案第10号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター
平成30年度第4回収支補正予算について

・議案第11号 同センター就業マニュアルの制定について

・議案第12号 同センター平成31年度事業計画について

・議案第13号 同センター平成31年度収支予算について

(3)報告事項

各部会及び各委員会からの報告
事業実施状況報告について
役員賠償責任保険の加入につ

事務局からお知らせ

い
て
専門部会関係
◎専門部会等の活動状況報告

◆就業相談日

就業相談は毎月第3木曜の午前中にセンター事務所で行っております。お気軽にご相談ください。また就業情報は、センター事務所の掲示板やセンターのホームページでもお知らせしています。

◆令和元年正会員・賛助会員会費の納入について

会費未納の方は、早急に納入をお願い致します。コンビニエンスストアでお支払いできるよう感圧ハガキをお送りしておりますが、金融機関よりお振り込みされる場合は左記口座へお願い致します。

- 振込先千葉銀行小金原支店
- 普通口座 3029246
- 公益社団法人松戸市シルバー人材センター理事長

龍谷公一

◆就業報告書の提出期限を守ってください

就業報告書の提出日は、翌月

3日までです。それを過ぎると翌々月の配分金扱いとなりますのでご注意ください。(※やむを得ない方はファックスでご送付下さい)

◆年に一度、松戸市の各種「健診」を受けましょう

特に癌(がん)は早期発見がポイントです。定期的な受診が早期発見につながります。

【定時総会開催のお知らせ】

- 平成31年度定時総会
- 日時 令和元年5月30日 (木曜日) 午後1時
- 場所 松戸市民会館

★令和元年度の行事予定

- 5月 江戸川クリーンデー (26日)
- 定時総会(30日)
- 6月 センター普及啓発活動
- 7月 安全・適正就業強化
- 10月 松戸まつり、秋のクリーンデー
- 11月 シニア交流センターまつり

●クリーン大作戦参加者募集!

5月26日(日)、地域貢献活動の一環として本年も江戸川クリーン大作戦に参加します。

参加希望者は左記宛ご連絡ください。(雨天中止)

連絡先 ボランティア委員会
事務局 330・5005 浅香

配分金支払日

(令和元年)	
5月22日(水)	
6月14日(金)	
7月12日(金)	
8月15日(木)	
9月13日(金)	
10月15日(火)	
11月15日(金)	
12月13日	

新理事として一年

沖本博司

松戸市シルバー人材センターの新理事として、一年が経過しましたが、先輩諸氏の理事にご指導いただき初年度を終えようとしています。まず役員としての責任を重く受けとめ、将来のセンターのあるべき姿が全国的に知名度のあるものへと発展するように、一歩一歩努力していきたいと思えます。平成30年度の総会員数は2200名強ですが会員増ができるように頑張っております。センター入会は入会説明登録会が一本化し気軽にできるようになりました。

林 義雄

昨年5月に理事を拝命して一年を経過しました。

理事会、総務部会、地域班活動委員会に参加して感じたことですが、公益社団法人であるシルバー人材センターの本部組織が硬直化して、マンネリ化している事には驚きました。前任者からの引き継ぎ事項は無く、事務局から「このテーマを」と数行のメモ程度のもので各会合に臨んだ為、高齢化した私の脳みそは激しく痙攣をしてしまいました。それでも物事を三次元的思考(縦、横、奥行き)で捉え、前向きに活動できたのは、仲間たちのお陰と感謝しております。今後は地域班活動が一層活発になり、会員相互の親睦が深まって一人でも多くの友だちが増えることを願って活動してまいります。2200人の会員の皆様から理事として承認を受けた私は、会員の利益を考えセンター運営に参加して参る所存です。

佐藤恵子

昨年の5月に理事という大任を押し、私にとまるかどうか不安の思いのスタートでした。この一年間で一番の思い出の取り組みは、ことし3月6日に開催されたシルバーセンターの地域の集いでした。女性部会が中心となり、企画、運営にたずさ

わる事ができ、参加された方々から「楽しかった！センターの事が良く分かりました」と、うれしい声を寄せていただきました。これからセンターの発展のため会員が喜んでくださるよう、尽力してまいります。

染井 秀雄

64歳でシルバー人材センターに入会し、早くも8年になるうとしています。その間、放置自転車等の仕事に就いて7年半になり、昨年の総会で理事に就任し1年となりました。1日、1ヶ月、1年の過ぎる早さを実感しているこの頃です。理事1年生には先生がいらないため、聞く、参加する、経験するを基本にして行動してきましたが、出来なかつたことが多く、出来たことが少なく、反省ばかりです。これからの2年目も1年目に培った基本を忘れずに取り組んで行こうと思います。



業務係 浅香 広樹

新しく事務局職員になりました

皆様初めまして、昨年10月より松戸市シルバー人材センター

センター25周年 特集 私に起きた 特別な出来事

ボランテア活動に開眼

12班 島田 剛

職員となりました浅香広樹（あさかひろき）と申します。業務係として主に継続的な清掃作業、筆耕等を担当しています。他には地域班、ボランテア、安全就業、会報編集といった委員会に参加しています。私が職員になって先ず驚いたことは、失礼ですが会員さんの年齢です。特に80歳を超えている方が植木や除草、またスーパリーのカート整理等の仕事を無理なくこなしておられ、「私より元気なのは」とたいへん驚かされました。そして皆様が安心して就業されるようにバックアップしていきたいというのが私の目標になりました。今はまだまだ未熟ですが、日々成長していきたくいと決意を新たにしております。現在29歳独身です。改めましてよろしくお願ひ致します。

私がボランテア活動に目覚めたのは亡き実母の数十年前の経験からでした。当時は家族が介護や世話で大変な思いをし、

それを見聞きしたのが大きな動機です。まず予備知識として書物でボランテアの心を学びました。

- ① 自ら進んで行動する「自主性・主体性」
- ② ともに支え学び合う「社会性・連帯性」
- ③ 見返りを求めない「無償性・無給性」
- ④ よりよい社会をつくる「創造性・開拓性」

以上を念頭に入れ、さる介護施設を、期待と不安を胸に訪問しました。実地に学んだ内容はデイサービス、ショートステイの利用者との対話、運動の補助（体操・筋トレ・青竹踏み）、娯楽（カラオケ・トランプ・囲碁将棋）の相手など、また職員、スタッフの補助役として3時のおやつ準備・配膳・後片付け等々。体験は週2回を目途として、時間は昼過ぎ1時半から2時間余りとなりました。

施設での利用者との対話のなかで、常に耳を傾け、聴く耳を持ち、けつして話の内容を否定することなく同調し、傾聴することの大事さを痛感しました。

「年をとると子供にかえる」といいますが、利用者として接していると、みんな可愛くも見えて

きました。あれから早6年半が過ぎました。

年々高齢化が進み、現在認知症高齢者は460万人、予備軍も400万人といわれます。こうした現状を他人事と思えず、以前に社会福祉協議会主催の「認知症サポーター講座」を受講。認知症の正しい理解と、偏見を持たず本人や家族を温かく見守る地域の応援者としての心構えを学びました。「明日は我が身」と思うこと、それがボランテアの心を永続させる秘訣と実感しているこのごろです。

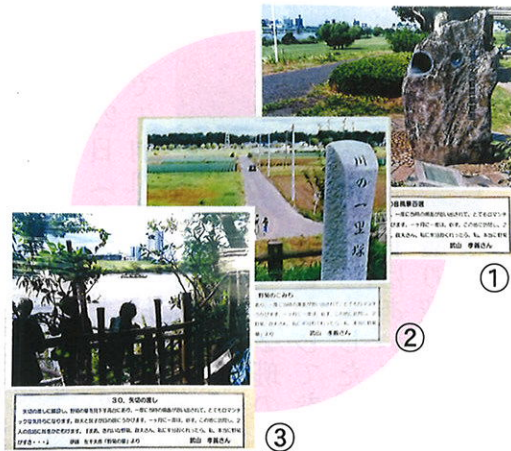
会員の広場

ここら安らぐ場所

3班 武山 孝義

昨年の11月、本市の『私が好きな松戸の景観スポット』に出品した写真3枚が採用され、ことし初春に62枚とともに展示されました。主催は松戸市都市計画課。展示場所は市役所連絡通路（1月7〜18日）と、文化ホール市民ギャラリー（2月7〜12日）。

採用されたのは、①日本の音・風景百選、②野菊のこみち、③矢切の渡し、の3点。



地域班活動

□第2回単発作業班との打合せ会 と栗山配水塔見学会

8班 谷地田 由夫

〈単発作業班打合せ会〉 昨年5月に引き続き、1月17日午後1時〜3時で、和名ヶ谷スポーツセンター会議室において参加者10名で開催。地域班活動委員会の林義雄委員長と5班担当の佐藤恵子各理事から、就任後日が浅いので皆さんと一緒に勉強し、地域班、単発作業班の充実と発展に努力したいなどと挨拶があった。

単発作業班の3名の副班長からは次のような発言があった。近時、高齢者から軽度生活援

助サービスの依頼が漸増し、いままでの単発作業担当者のみでは対応しきれないので、一般会員に単発作業班へ就業登録してもらい、その要望に添えていきたい。仕事の内容は単発班副班長が、また発注者の住まいや現況は地域班班長が熟知しており、互いに連携をとりながら業務に当たりたい。

仮に駐輪場就業者の場合は、3日間の休みがあつてこれを利用すれば、ダブル就業も可能であることなど説明し、地域班班長・副班長からは、以上の事情を一般会員にPRし、登録会員を増やすよう努力する旨約束があつた。

〈栗山配水塔見学会〉 3月30日、地元4班のお世話を頂いて、4・5・6班合同の矢切・栗山配水塔見学会を実施した。参加25名。一般への見学会開放は年一回で、場内の桜の満開時期と重なつたこの日は沢山の人が出で賑つた。この配水塔は高さ32mで昭和12年に完成。戦時中は黒塗りにして破壊を免れたとか。平成29年に国の登録有形文化財(建造物)に指定された地域のシンボリック存在で、80年余りの間、松戸・船橋・市川へ安定した上水を供給している。ヘルメット着用でいざ塔内見学へ。百段余りの階

段を腰を屈めながら昇り、途中塔内の高さ20mほどの青い水道水を見ながら頂上に到着。眼下の江戸川、松戸等市街地の眺望は感動的だった。事務所から様々な資料と特製水道水のペットボトルを記念に頂く。見学後はレストラン組、近くのスーパーストラン組、近くのスーパーストラン組、野菊の墓散策組に分かれて解散した。

□11・12班秋の日帰り旅行記

11班 小室 三郎

近年欠かさず実施している日帰り旅行も今回で6回目。今回はフルーツ王国山梨のぶどう狩りである。実行日は(平成30年)10月23日(火)に決定。22名の募集に何と39名が応募。大型サロンの急な変更もなんとかまとまり、当日朝7時、五香駅前出発。八柱で予定全員が乗車し、一路山梨へ。この道30年のベテラン運転手にすべてを任せ、車内で各自自己紹介が進むうちに、早くも最初の見学先武田信玄神社へ到着した。30分ほど見学し、食事処山梨名物ほうとうレストランへ。勇壮な武田陣太鼓を聴きながら美味しい食事にご馳。個々に土産を買い入れて、本日のお目当て「ぶどう狩り食べ放題」会場へ向かう。みずみずしい何

種類ものぶどうを皆パクパクモグモグ。食事直後もなんのそのぶどうは別腹とばかりその旺盛な食欲に感嘆する。帰りは籠いっぱいの土産付きだ。続いて信玄餅工場、ワイン工場と見学し、帰途の車内は通路まで土産が溢れんばかり。豪華な？景品が当たるビンゴゲームで盛り上がるなか、予定より早く松戸へ帰着した。終日快晴、笑いと満腹の日帰りとは思えない豪華な？旅だった。

□オカリナと尺八で3班饗宴

3班 山本博之

我が3班の懇親イベントは先ず2月10日、鉄板焼き料理教室の新年会と『オカリナコンサート』で幕を開けました。地元古ヶ崎市民センターを利用した初の試みで、有志会員とその友人ご家族併せて30名超の方々が参加され盛況でした。『オトコ料理』の鉄板焼きとビール、矢切名産(近藤農園の矢切ねぎ)の試食に舌鼓を打ち、その上ねぎのお土産付き。地元古ヶ崎待山農園のかぶの漬物、味噌汁も大好評。ポランティア参加のオカリナ演奏グループ(クローバ)の澄んだ音色がいち早く春を運んできました。

第2弾は4月1日『平成最後の花見』。昨年は葉桜下の苦笑いでしたが、今年は一転満開の桜。有志30人の満面の笑顔が集いました。有為の人材、椎葉会員の素敵な尺八演奏に合わせ民謡の合唱となりました。



当日は新元号発表の日。11時30分には全員携帯ラジオの「玉音放送？」に耳を傾けました。官房長官の声が聞き取れず、「めいわ？えいわ？」と口々に言い、スマホで『令和』を確認し全員納得しました。次回は暑気払いで全員集合を約束、お開きとしました。

□寒さに負けず合同花見会

2班 桑原 勲

3月29日(金)、北小金の東漸寺で午前11時より地域班1・



2班合同の花見をしました。私は今年2班の副班長として参加致しました。当日はあいにくの曇り空で厳しい寒さにもかかわらず

らず、50名の方が参加されました。桜は満開でとてもきれいに咲きほこっていました。皆さん、肩をすぼめての花見でしたが、満開の花に負けないほどの元気と笑顔で寒さを吹き飛ばしてくれました。センター会員の一人として親睦に貢献できたことを班長さん、幹事さん方に感謝しつつ家路につきましました。

平成30年度事故報告

- ◆平成30年度事故件数 35件
 - ・傷害事故件数19件 (就業中12、就業途上7)
 - ・賠償事故件数16件
- ◆平成29年度事故件数 14件
 - ・傷害事故件数 9件 (就業中6、就業途上3)
 - ・賠償事故件数 5件 (平成31年3月20日現在)



部会活動

□広報部の役割について

渡邊 和子

シルバー人材センターの仕事や役割を、より良くより広く市民に知って頂くためには、肝心の会員お一人お一人がシルバー人材センターの存在感に目覚めることが必要でしょう。

如何にしたら皆さんにその自覚を持って頂けるか、その縁の下の力持ちが広報部の役割と考え、

今後は各部会の人達とよく話し合いを持ち、団結して行くことと致しました。

先ずは「ホームページ(HP)の見直し」です。これは一年前頃から事務職の方とも話し合いをしておりますが、HPの自身を「もつと見やすく、わかりやすく」が目標です。また入会説明会等にも役立てるように、チラシも新しい情報や切り口を少しずつでも取り入れ更新していきます。近隣地域のシルバーはどんな事をやっているか、松戸市のシルバーに合うものがあれば見直し、取り入れていきます。その効果が現れるかどうかは私たち会員個々のしつかりした認識と団結力実行力にかかっていると認めます。どうぞご協力をお願い致します。

□女性部「地域の集い」好評

海老原 征志郎

シルバー人材センター女性部による「地域の集い」が、3月6日午後1時から松戸市民劇場で行われました。幕開けは当センター紹介のDVD上映。これは初の試みで大変好評でした。

次は講演『さあにぎやかにいたなく』。松戸市健康推進課の管理栄養士石川有希子さんによる

お話(併せてDVD『はじめようグーパー食生活』上映)と、いろいろ食味しながら楽しい時間を過ごしました。

休憩後はアトラクション。「はっらつ老連クラブ」18名が踊りを新野、水上ご両名が素晴らしい歌声を披露してくれました。ご来場129名の皆様にお花のプレゼントの時、「とても楽しかった」の声を頂きました。センター職員、理事さんの応援もありがとつございました。

同好会に入りませんか

■手工芸同好会

連絡先/高橋久子(5班) (電話)367・2317

■グラウンド・ゴルフ同好会

令和元年度大会予定 第1回5月23日/第2回9月19日/第3回11月14日の各木曜日

連絡先/中川忠興(12班) (電話)386・7433

■囲碁クラブ

連絡先/高橋 公(5班) (電話)364・2390

■絵本読み語り同好会

連絡先/島田 忠巳(7班) (電話)341・3544

■カラオケ同好会

連絡先／小林 久芳(5班)
 (電話367・6579)
 ■松明健康麻雀クラブ
 連絡先／金井八重子(3班)
 (電話360・0778)

満開の花の真下

年と共に忘れる事が多い中桜の花の木の下での麻雀は爽やかに心が広く1人1人の笑顔に大きな幸せと生きる喜びを感じた最高のひとときでした。



嬉々として集
 い
 和やかに卓
 を囲み6回目
 の大会も成功
 裏に：正に松
 明(せいか)の
 様に明るく楽
 しいクラブと
 なっています
 (金井)

「賛助会員」募集中

地域社会を担う松戸市シルバ
 ー人材センターは、働く意欲の
 ある高齢者に就業機会を提供し、
 生きがいの充実と福祉の増進を
 図っております。同時に多様な
 仕事をお引き受けして活力ある
 地域社会への貢献をめざしてお

りますが、何より地域社会の篤
 いご支援こそ必要です。そこで「賛
 助会員制度」を設け、皆様方
 ご協力を仰いでおります。つき
 ましては本制度の趣旨にご理解
 ご賛同を頂き、本会員にご入会
 のうえ、センター事業の一翼を
 担って頂きたくお願い申し上げ
 ます。
 会費は次のようにさせていただきます
 だいております。

○個人会員 年会費(1口)
 1500円

○法人会員 年会費(1口)
 3000円

ご入会後は会報「はっらつ松戸」
 を発行の都度お送りし、同誌に
 お名前を掲載致します。

お申し込みの詳細は当センタ
 ー事務局へご連絡ください。

◎連絡先 330・5005



チャレンジ文芸

俳句

片倉敏雄(8班)
 早春の安房にからめく塩溜まり
 春昼のチーンとレンジ鳴りにけり
 白蝶の止まりし花を手向けたり
 朧夜を切り裂きスマホ鳴りにけり

島田忠巳(7班)

来客の知らせに居留守春炬燵
 けん玉の球は赤色春の昼
 ホスピス棟のカーテンピンク葱
 坊主
 啓蟄や睡眠導入剤処方
 振り込みの印字音なし亀鳴けり

小倉美枝子(2班)

水琴窟色なき苑に春の音
 意思つよく垂れてつややか花菖蒲

室井正壮(2班)

小春日や縁に安らぐ父母をふと
 冬滝の音響きさぬ園の奥

東京はちらちら雪に終りけり
 惚びつつ眠れぬ夜や冴返る
 白梅や園のしじまに日を弾き

松本有介(9班)

こんじきの鯉の飛沫や春の雷
 潮騒の声なき声や雁帰る
 スペクトルの黄に添ふ星や春霞

田中義明(2班)

平成が令和となつてさくら咲く
 梅の和歌令和の御代を和の世にと
 冬ほたる兜太したたか天国へ
 揚ひばり天国よいところそろ
 おいで
 ころがる石どこへ行くやら春の風

長尾志朗(2班)

春雷にあはれ弧蝶のよろめきぬ

蒲公英の絮毛を吹きておはりけり
 麗らかや野に咲く花のあらそはず
 夕映えの湖尻の茶屋の寒蛭
 初音聴く祥月の日の墓前かな

山崎修平(5班)

公園の椅子等間隔に春を置き
 山吹の身の一つ家の置きどころ
 新元号掲ぐる顔や四月馬鹿
 陽炎へる五五〇〇万光年の穴
 若葉風土鳩の頸の艶を吹く

川柳

老沼正一(12班)

復興へ衣更えする地平線
 新人へ活入れるロボットの餓鬼
 へそくりも冷凍保存するワイフ
 隈取りも襲名披露高麗屋
 皺の数芸術にする敬老日
 そこそこと鼻うごめかす麻葉犬
 風評をフェイクニュースが巻き
 上げる

短歌

根岸敦子(2班)

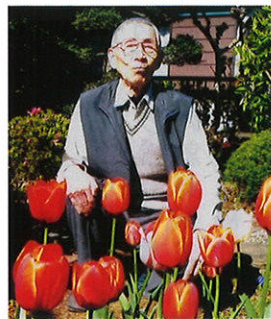
新鮮野菜作り続けて三十年 手放
 す畑に謝するその朝
 好きなのだけ熱中できる時間あり
 今がいちばんと言える幸せ

【表紙について】

毛筆書(祝令和)

書家 山岸弘さん

当センター最高齢の現役会員(92歳)で筆耕一筋25年のベテランです。



新潟県出身。大東亜戦争(本人の言)時、18歳で海軍に志願。憧れた士官の制服とは裏腹の、軍隊特有のいじめと舞鶴の冬の寒さに苦しみました。呉で人間魚雷の訓練に入る矢先に終戦。「正直ホツとした」と死を目前に生還した心境を記者に話されました。毛筆は若い頃からの趣味で会社時代も重宝されました。毛筆手書きの需要は少なくなりましたが、今も仕事が出来ることが有難いことですと張りのあるお声でした。

(山崎編)

【写真(あじさい)】

撮影者 岡崎幸四郎さん

本紙編集委員。第38号以来表紙の写真・レイアウトを担当。

氏が昨年、茨城県潮来市の二本松寺「あじさいの杜」で撮影。黄門さまゆかりの天台宗の古刹で、広い境内の一角に100種1万株の紫陽花が妍を競います。6

月中旬〜7月上旬が見頃。東京駅八重洲南口から水郷潮来まで高速バスが出ています。訪れる前に見頃を電話でご確認ください。(電話0299・64・2263)



【就業マニュアル】を策定

事業部会により4月1日から働き方が一部変わりました。主な内容は概略次の4つです。

- ① 継続業務のワークシェアリングを推進(就業者を増やし就業を適正・公平に)
- ② 5年就業の促進(同一業務の就業期間を5年とし原則交代制に) なお①②は当面の間、駐輪場管理と放置自転車防止の業務のみを対象とします。
- ③ 一定の年齢による健康面のチェック(自己診断書、運転免許証の確認等)
- ④ 責任感の醸成(会員が原因の事故、苦情、紛争処理)

【福祉有償運送サービス】を

始めました!

本サービスは、一人では公共交通機関を利用することが困難な身体障がい者や要介護者等に運送を行うサービスです。これによりご高齢者もおからの不

自由な方も気軽に外出できるようになります。



ドライバー18名(4月26日現在) 用意の車両2台登録

サービス開始にあたり、事務局内務説明会(平成31年4月下旬)、パンフレット配布(平成31年4月下旬)を行いました。今後は本サービスを幅広くお知らせし、お客様を拡大していきます。会員の皆さんのご協力をお願いします。

★次号原稿募集中! ※第62号特集

福祉有償運送サービス開始に伴い、この間の「利用者・運転者の声」を募集、特集します。「使ってみて」「乗せてみて」の感想、気づき、要望等を今後のサービス向上に生かします(編集部からも直接取材予定)。

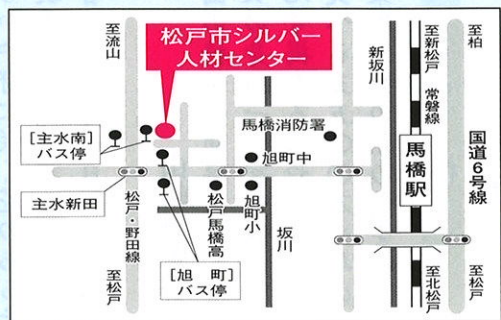
他に各種原稿、写真、文芸等は従来通り。締切は7月末です。(※紙面の都合でご投稿文の一部改変・縮小をお許しください。)

(はっらつ松戸編集部)

編集後記

もともと無関係な人同士がシルバー人材センターで出会い、仕事やボランティア活動を通していつの間にか友達になっていく不思議さ。そんなことを考えて先日、市主催のコミュニケーション講座に参加した。話し上手は聞き上手など職場でも家庭でも役立つ人との接し方を学んだ。心機一転、楽しく充実したシニアライフをおくるため、「健康は過信するなよ」と自分に言い聞かせた。心身の健康がまずは基本だ。人との素敵なコミュニケーション体験を重ねることが何よりの「特効薬」と気づいた令和元年である。(大曾根編)

公益社団法人 松戸市シルバー人材センター



〒271-0043 松戸市旭町一七四
TEL 0477-330155
FAX 0477-330158
月曜日から金曜日
午前8:30〜午後5:00
土・日・祝日及び年末年始は
お休みです。

※県立馬橋高等学校を目印にお越し下さい。JR馬橋駅西口より徒歩25分・JR馬橋駅西口発(京成バス)松戸駅行き 旭町下車3分